

# 決算説明会 2023年2月期 通期（第41期）

## ソーバル株式会社

東京証券取引所 スタンダード  
証券番号：2186

2023年4月18日  
代表取締役社長 兼 最高経営責任者

推津 敦

総スライド数：12ページ

# 目次

---

はじめに	ソーバルグループ概要
前期の総括	1-1 業績ハイライト 1-2 財政状態・キャッシュフロー 1-3 売上構成比   セグメント／主要顧客 1-4 売上構成比   セグメント／契約種別 1-5 総括
今期の展望	2-1 今期の見通しと業績予想 2-2 配当予想・株主優待 2-3 トピックス   品質評価事業の譲渡に伴う中期経営計画の見直し 2-4 トピックス   新しい働き方への投資／オフィスリニューアル

# ソーバルグループ概要

**設立** 1983年1月

**本社所在地** 東京都品川区

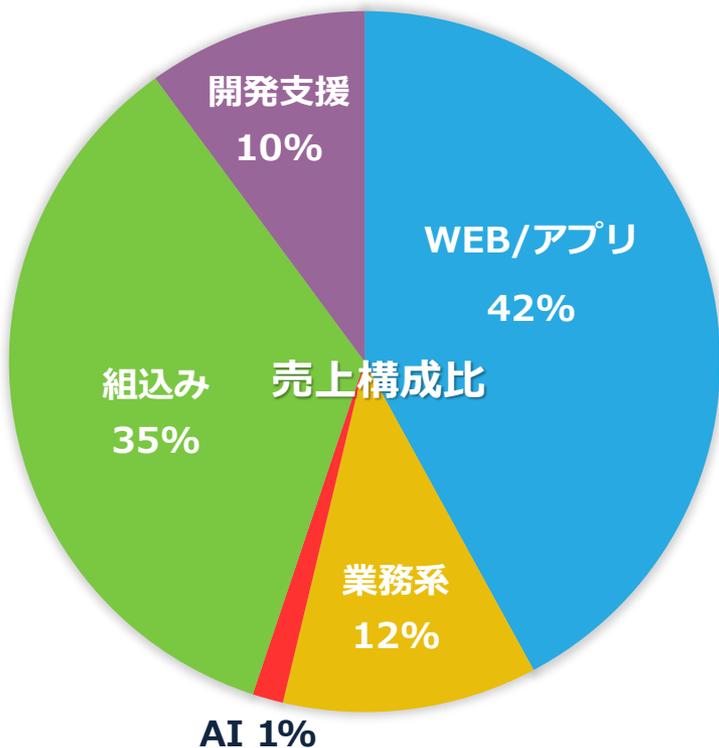
**資本金** 2億1,426万円

**従業員数** 851名(\*)

**売上高** 81億5,915万円(\*)

**平均年齢** 36.9歳

## 事業内容 (\*)



## 主な開発実績

- WEB・クラウドシステム
- 企業向け業務系システム
- スマホアプリ
- デジタルカメラ・ビデオ
- 自動運転
- 医療統計解析
- 各種マニュアル制作
- AIデータ分析など

## 子会社

- アンドールシステムサポート株式会社  
1969年11月設立 資本金9,900万円
- 株式会社コアード  
1987年2月設立 資本金2,000万円

## 業績ハイライト

(百万円)	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期	対前年同期 増減率	予想	達成率
	実績	実績	実績			
売上高	7,531	<b>8,163</b>	<b>8,159</b>	△0.1%	8,000	102.0%
営業利益	251	<b>603</b>	<b>643</b>	<b>6.6%</b>	630	102.1%
経常利益	557	<b>637</b>	<b>657</b>	<b>3.0%</b>	640	102.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	378	<b>447</b>	<b>683</b>	<b>52.8%</b>	670	102.0%

## Point

- 品質評価事業（売上規模約10億円）の譲渡を行うも、他の事業の成長により前期並みの売上を達成。
- オフィス改装、新しい福利厚生（手当）の導入などコスト要因発生も、計画通りの利益で着地。

前期の総括 1-2 財政状態・キャッシュフロー

(百万円)	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期
総資産	4,283	4,649	5,181
純資産	3,231	3,433	3,910
自己資本比率	75.2%	73.5%	75.2%
1株当たり純資産	409円71銭	434円55銭	495円21銭
営業活動によるCF	369	430	525
投資活動によるCF	△13	△10	400
財務活動によるCF	△242	△250	△262
現金及び現金同等物の 期末残高	2,292	2,461	3,125(+663)

### Point

- 自己資本比率は依然高い水準を維持
- 投資活動によるCFは、品質評価事業の譲渡による収入371百万円が含まれます

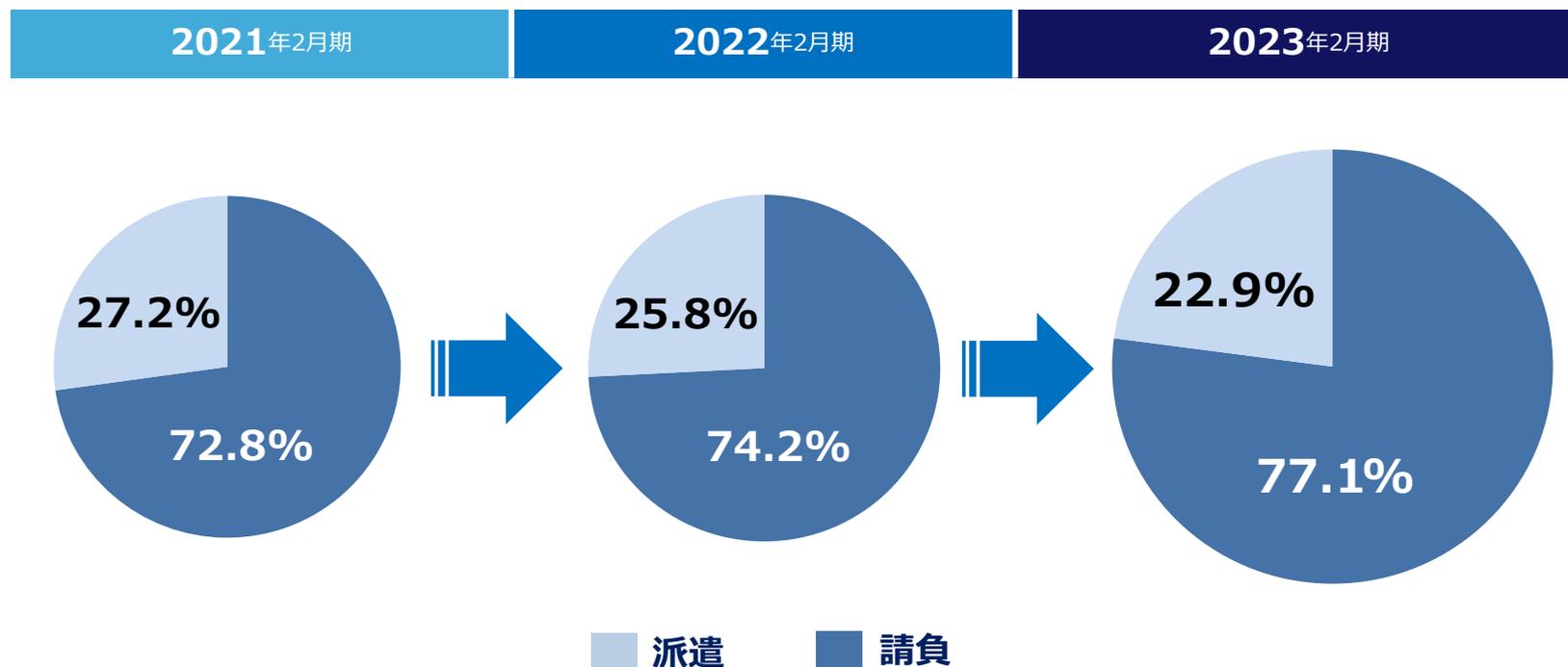
# 売上構成比 | セグメント / 主要顧客

	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期
ソニーグループ	28.4%	31.0%	<b>32.2%</b>
富士通グループ	12.4%	11.7%	<b>13.7%</b>
キヤノングループ	13.4%	7.7%	<b>9.2%</b>
リクルートグループ	4.4%	4.4%	<b>5.2%</b>
日立グループ	4.1%	3.5%	<b>3.5%</b>
トヨタグループ	3.5%	3.2%	<b>3.0%</b>
首都高速道路技術センター	0.2%	0.2%	<b>2.2%</b>
その他	33.6%	38.3%	<b>31.0%</b>

## Point

- 上位4社：微増
- 日立G、トヨタG：横ばい
- 一般財団法人 首都高速道路技術センター：増加

# 売上構成比 | セグメント / 契約種別



## Point

- 請負比率は順調に増加（70%～80%の比率の維持を目指す）
- PM・PLの育成、新卒の戦力化、パートナー活用が奏功

# 総括

## 期初の 重点対応

- ①営業展開に注力
- ②人材の育成（PL・PMの量と質の向上）



2022年8月1日付 品質評価事業の承継（事業譲渡）

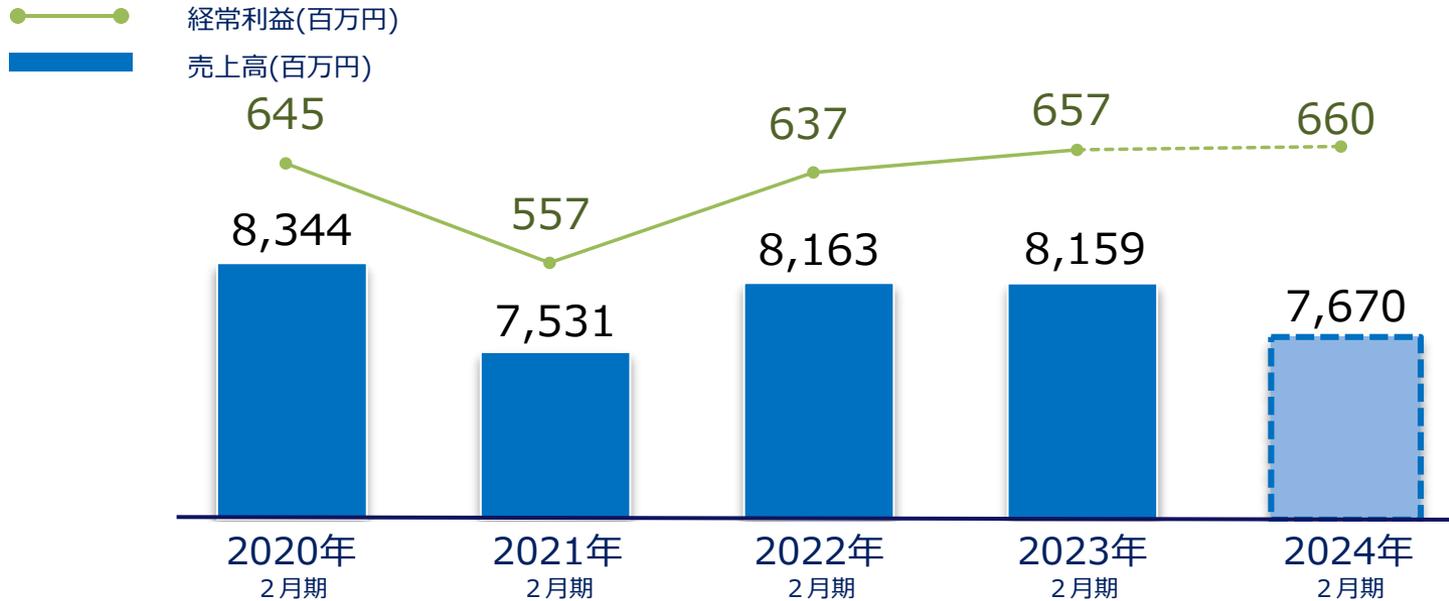
## マイナス の発生

- ・売上規模およそ10億円の品質評価事業を譲渡（今期への直接的な影響はおよそマイナス6億円）

## プラス の発生

- ・案件選択と高稼働により高い収益性を実現
- ・品質評価事業の譲渡による特別利益が発生

# 今期の見通しと業績予想



## テーマ

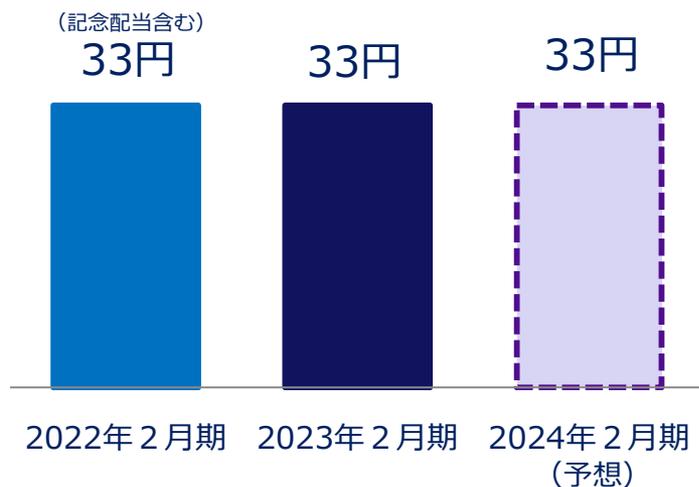
各事業の力強い躍進と経営課題の解決

## Point

- 売上予想の減少は品質評価事業の譲渡によるもの。利益は微増予想。
- AI人材の育成と、PL・PMの確保をより加速化
- 10～30億円規模のM&A模索と新規案件獲得営業への注力

# 配当予想・株主優待

	一株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2024年2月期（予想）	16円50銭	16円50銭	33円00銭
2023年2月期	16円50銭	16円50銭	33円00銭
2022年2月期	16円00銭	16円00銭 +記念配当 1円00銭	33円00銭



## Point

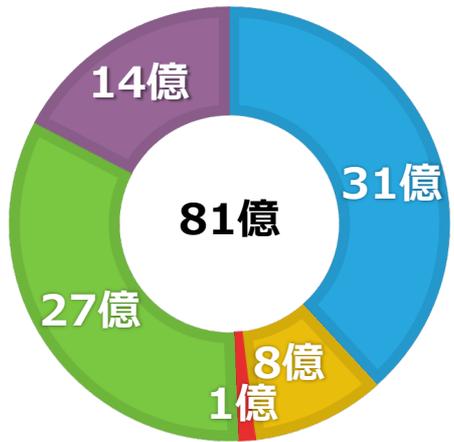
- 経常利益は、前年同レベルと予想。配当は、今期と同額に据え置き。

## 株主優待制度

対象	優待内容
1単元以上 10単元未満	500円相当QUOカード
10単元以上	2,000円相当QUOカード

1 品質評価事業の譲渡に伴う中期経営計画の見直し

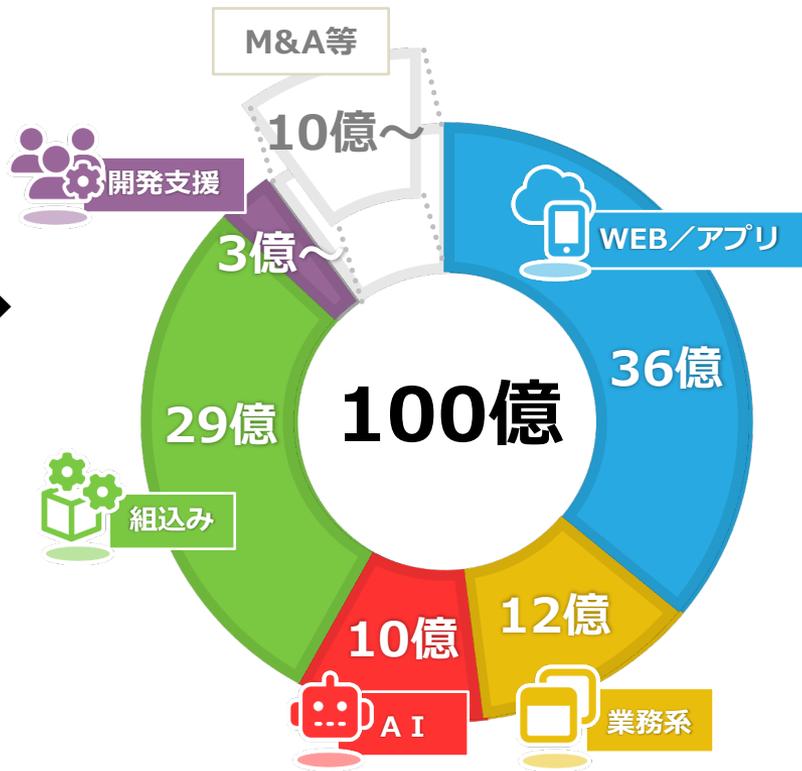
2022年2月期



経営目標 (売上)



2027年2月期



2022年8月に開発支援に含まれる品質評価業務（売上：約10億円）を事業譲渡しました。こちらの不足分については、10～30億円規模のM&A等で補うことで、経営目標は当初のまま据え置きます。（2023/4見直し）

## 2 新しい働き方への投資／オフィスリニューアル



### 執務

エンジニアの執務席はパーソナルスペースの確保と座り心地・負担の少なさを追求したエルゴノミックなチェアの導入により、業務の快適性と集中力の向上を実現しました。

### コミュニケーション

オフィスの中央に大規模な休憩エリアを新設。希薄になりがちなコミュニケーションの醸成やON/OFFの切り替えができるようになりました。



### ミーティング

予約不要な小規模ミーティングスペースを用意。手軽にミーティングを行うことができます。防音ブースではテレワーク勤務者とのWEB会議も快適に行えます。